

大会名 Competition	第21回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO, M-106	Year Month Day Time 2008 年 5 月 4 日 9 : 00
場所 Place	能代市総合体育館



チームA <b>新潟商</b> 70 ●	<table border="1"> <tr><td>17 1st</td><td>24</td></tr> <tr><td>12 2nd</td><td>19</td></tr> <tr><td>15 3rd</td><td>33</td></tr> <tr><td>26 4th</td><td>12</td></tr> <tr><td colspan="2">OT</td></tr> </table>	17 1st	24	12 2nd	19	15 3rd	33	26 4th	12	OT		チームB <b>台湾</b> 88 ○
17 1st	24											
12 2nd	19											
15 3rd	33											
26 4th	12											
OT												

主審:Referee 片寄 達 宮城県  
副審:Umpire 北沢 岳夫 宮城県  
谷地 温 秋田県  
テーブルオフィシャル:Table officials 花輪高校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	榎坂 健人	CAP	19	4	2	3	2	4	／	頼 國 維	CAP	3	0	0	3	2
5	×	近藤 大		10	0	5	0	5	5	×	彭 俊 諺		4	0	2	0	3
6	×	山崎 将也		14	0	4	6	3	6	×	李 明 暉		5	1	1	0	1
7	／	五十嵐 良心		0	0	0	0	0	7	×	林 力 仁		6	0	3	0	5
8	×	小野寺 弘晃		14	1	5	1	3	8	／	頼 柏 霖		5	0	2	1	2
9	／	田村 亮		0	0	0	0	3	9	／	張 伯 維		12	0	5	2	2
10		小林 裕太郎		-	-	-	-	0	10	／	黃 文 鉅		1	0	0	1	1
11	／	中村 博		3	1	0	0	0	11	／	楊 曙		0	0	0	0	1
12	×	新保 寛人		8	0	3	2	3	12	×	黃 家 明		23	0	11	1	2
13		佐藤 寛人		-	-	-	-	0	13	／	林 永 浩		5	1	1	0	1
14		亀山 亮		-	-	-	-	0	14	／	蘇 柏 彰		11	0	5	1	1
15		萩野 晃平		-	-	-	-	0	15	×	周 柏 臣		13	0	4	5	1
16	／	岩淵 俊紀		2	0	1	0	2					-	-	-	-	0
17		安保 睦		-	-	-	-	0					-	-	-	-	0
18		村越 俊紀		-	-	-	-	0					-	-	-	-	0
コーチ		中屋 廣昭							コーチ		楊 宜 峰						
Ａコーチ		丹波 浩之							Ａコーチ		謝 玉 娟						
合計				70	6	20	12	21	合計				88	2	34	14	22

※×:スター 〃:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Q、台湾は序盤から#12黄、#15周のゴール下などで勢いよくスタート。新潟商業も持ち味の粘りのあるディフェンスから勢いに乗ろうとする。残り5分からお互い一進一退の攻防が続き、残り3分一時新潟商業が15-14と逆転するも、台湾の執拗なゴール下の攻撃で17-24の台湾7点差リードで第1Q終了。

第2Q、新潟商業#6山崎のシュートが決まり反撃したいところだが、台湾の#12黄、#15周の速攻からのシュートを止められない。新潟商業は、速いパス回しからドライブ、3Pを繰り出すが台湾の堅いディフェンスを崩すことができず苦しい展開。第2Q終わって29-43の14点差で台湾のリードで終了。

第3Q、台湾は、#15周などの得点により着々と新潟商業を引き離しにかかる。新潟商業は攻め手を欠き、得点が止まる。台湾は#12黄の速攻からの豪快なダンクシュートもとびだし、試合を一気に決めにかかる。第3Q、44-76の台湾32点差リードで終了。

第4Q、新潟商業は、激しいオールコートマンツーマンディフェンスで意地を見せるが、なかなか点数に結びつかない。一方台湾は、#15周などの安定したプレーで得点する。それでも新潟商業は、トランジションの速い展開に持ち込み#5近藤などのドライブなどで粘りをみせ、このクォーターだけで新潟商業が26点を挙げるが結局70-88の18点差で台湾が勝利した。

新潟商業の粘りのあるバスケットが光る一戦になった。